

解説

台風 鉄道網ズタズタ

◆台風19号に伴う鉄道・高速道路の見合わせ区間と再開見通し

	事業者	路線	区間	再開見通し		
新幹線	JR東日本	北陸新幹線	長野—上越妙高	10月25日		
		東北線	新白河—安積永盛	約2週間		
		八戸線	本宮—松川	約1週間		
		八戸線	階上—久慈	約2か月		
		気仙沼線	前谷地—陸前戸倉(BRT区間)	未定		
		磐越東線	郡山—小野新町	約3週間		
		磐越東線	小野新町—いわき	約1か月		
		両毛線	足利—栃木	一部で10月20日頃。全面復旧は堤防工事後約1か月		
		吾妻線	長野原草津口—大前	未定		
		水郡線	常陸大宮—常陸大子	未定		
		水郡線	常陸大子—郡山	約1か月		
		飯山線	豊野—森宮野原	11月下旬		
		小海線	小諸—野辺山	11月上旬		
		在来線	東武鉄道	佐野線	全線	一部で10月18日に再開。全面復旧は未定
				日光線	栗橋—栃木	10月19日頃
			三陸鉄道	リアス線	釜石—宮古	10月25日頃
				リアス線	田老—久慈	未定
			阿武隈急行	阿武隈急行線	梁川—槻木	未定
			箱根登山鉄道	鉄道線	箱根湯本—強羅	未定
			しなの鉄道	しなの鉄道線	上田—田中	未定
上田電鉄	別所線		上田—下之郷	未定		
高速道路	NEXCO東日本		上信越道	碓氷軽井沢IC—佐久IC	1週間程度	
	NEXCO中日本		中央道	八王子JCT—大月IC	10月19日正午頃	
	国	三陸沿岸道路	南三陸海岸IC—歌津IC	未定		

※国土交通省の発表資料などに基づく

19号上陸1週間

17路線運休再開未定も

関東から東北にかけて広域的な被害をもたらした台風19号は交通インフラや物流などに打撃を与えた。台風の上陸から1週間を迎えても影響は続いている。

▲本文記事一面▼

■線路流失 土砂流入
国土交通省によると、18日現在、鉄道は7事業者17路線で運転見合わせが続く。線路などが濁流や土砂に流されてしまい、再開の見通しが立たない路線もある。

北陸新幹線は長野県を流れる千曲川の氾濫で線路や車両が浸水し、長野—上越妙高間で運転見合わせが続く。水につかった線路周辺に電源装置の修理や復旧に時間を要しており、東京—金沢間の直通運転再開は今



千曲川の増水で崩れ落ちた上田電鉄の鉄橋(14日、長野県上田市で、本社へリから)＝中村光一撮影

JR東管内の在来線では、土砂崩れの影響で首都圏から甲府・松本方面へ向かう中央線特急「あずさ」「かいじ」が今月末まで全

月25日になる見込みだ。上越妙高以西を運営するJR西日本によると、2018年3月から1年間の利用者数は約869万人。不通が長引くと、沿線自治体が被る経済損失は大きい。JR東日本によると、直通運転再開後の運行本数は被災前から1割減の見通し。車両の浸水が全体の3分の1にあたる10編成120両に上ったためだ。繁忙期には上越新幹線の車両を回す可能性もあるという。

面運休の見通し。JR東海が同方面の列車の車両数を増やしたり、臨時列車を出したりする対応を取っている。福島県の磐越東線も橋の一部が流されるなどし、全線再開に1か月を要するという。

私鉄でも甚大な被害が目立つ。神奈川県箱根登山鉄道は、箱根湯本—強羅間で線路流失や電柱倒壊が相次ぎ、年内の運転再開が困難な状況。長野県の上田電鉄や、栃木県の東武佐野線は線路や橋の流失で一部区間の再開のめどが立っていない。

岩手県の三陸鉄道リアス線は線路などに土砂が流入したため、全長163キロのうち、今年3月、東日本大震災以来8年ぶりに運転再開した釜石—宮古間を含む7割が不通に。復旧の見通しは立っていない。

2019.10.19 読売